活動報告書

2022-2023

公益社団法人 NEXT VISION

この冊子はウェブサイトにPDFファイルを公開しています。音声で聞いていただけますので下記よりご確認ください。
二次元コードはこちらです。

NEXT VISIONへのご支援をありがとうございます。
みなさまのご支援・ご協力に支えられ、活動を継続することができます。
これからもよろしくお願いいたします。

（五十音順・敬称略）2023年9月30日現在

■賛助会員■

青木　勢津子	(アオキ　セツコ)
赤井　愛	(アカイ　アイ)
浅野　紀美江	(アサノ　キミエ)
荒本　秀一	(アラモト　ヒデカズ)
東濵　啓	(アリハマ　アキラ)
石川　典子	(イシカワ　ノリコ)
石子　智士	(イシコ　サトシ)
市川　照芳	(イチカワ　テルヨシ)
市橋　映二	(イチハシ　エイジ)
出原　恵美子	(イデハラ　エミコ)
伊藤　幸太郎	(イトウ　コウタロウ)
伊藤　節代	(イトウ　セツヨ)
伊藤　政文	(イトウ　マサフミ)
井上　直樹	(イノウエ　ナオキ)
井本　清江	(イモト　キヨエ)
上竹　あゆみ	(ウエタケ　アユミ)
宇仁菅　一郎	(ウニスガ　イチロウ)
遠藤　洋之	(エンドウ　ヒロユキ)
大蔵　克己	(オオクラ　カツミ)
岡田　太丞	(オカダ　タイスケ)
桂田　元太郎	(カツラダ　ゲンタロウ)
金井　国利	(カナイ　クニトシ)
加納　猛彦	(カノウ　タケヒコ)
唐澤　剛	(カラサワ　タケシ)
川口　尚子	(カワグチ　ナオコ)
川島　正隆	(カワシマ　マサタカ)
川真田　伸	(カワマタ　シン)
神田　信	(カンダ　シン)
木戸　俊介	(キド　シュンスケ)
木村　郁夫	(キムラ　イクオ)
熊懐　敬	(クマダキ　ケイ)
越川　慎一	(コシカワ　シンイチ)
小寺　佑花	(コデラ　ユカ)
小山　健一	(コヤマ　ケンイチ)
小山　哲矢	(コヤマ　テツヤ)
齋藤　裕美	(サイトウ　ヒロミ)
﨑元　宏美	(サキモト　ヒロミ)
佐渡　一成	(サド　カズシゲ)
清水　久美	(シミズ　クミ)
杉田　啓之	(スギタ　ヒロユキ)
鈴木　信吾	(スズキ　シンゴ)
園　順一	(ソノ　ジュンイチ)
高田　忍	(タカダ　シノブ)
竹田　武夫	(タケダ　タケオ)
田中　桂子	(タナカ　ケイコ)
田中　幸二	(タナカ　コウジ)
谷口　ミサエ	(タニグチ　ミサエ)
津田　孝司	(ツダ　タカシ)
手良西　萬里子	(テラニシ　マリコ)
土佐　美佳	(トサ　ミカ)
富田　喜一郎	(トミタ　キイチロウ)
中尾　郁子	(ナカオ　イクコ)
長岡　保	(ナガオカ　タモツ)
中川　倫子	(ナカガワ　ミチコ)
仁科　幸子	(ニシナ　サチコ)
野瀬　昌幸	(ノセ　マサユキ)
野々垣　美名子	(ノノガキ　ミナコ)
八田　美智代	(ハッタ　ミチヨ)
人見　智子	(ヒトミ　サトコ)
平井　威史	(ヒライ　タケフミ)
福田　麻美	(フクダ　アサミ)
福田　みほ	(フクダ　ミホ)

藤原　守雄　（フジワラ　モリオ）
千谷　貴之　（ホシタニ　タカユキ）
前川　喜美恵　（マエカワ　キミエ）
前川　清　（マエカワ　キヨシ）
松村　美代　（マツムラ　ミヨ）
丸山　亜実　（マルヤマ　アミ）
丸山　泰彦　（マルヤマ　ヤスヒコ）
三浦　幸枝　（ミウラ　ユキエ）
三宅　るみ子　（ミヤケ　ルミコ）
村井　薫　（ムライ　カオル）
村瀬　友救　（ムラセ　トモヤス）
安井　利恵子　（ヤスイ　リエコ）
山下　秀明　（ヤマシタ　ヒデアキ）
山田　久美　（ヤマダ　ヒサミ）
吉野　由美子　（ヨシノ　ユミコ）
吉本　領　（ヨシモト　オサム）

医療法人　誉祐会　（イリョウホウジン ヨシユウカイ）
大崎工業株式会社　（オオサキコウギョウカブシキガイシャ）
株式会社 Ashirase　（カブシキガイシャアシラセ）
株式会社ASTO System　（カブシキガイシャアストシステム）
株式会社神戸ポートピアホテル　（カブシキガイシャコウベポートピアホテル）
株式会社システムギアビジョン　（カブシキガイシャシステムギアビジョン）
株式会社プライムアシスタンス　（カブシキガイシャプライムアシスタンス）
公益社団法人日本網膜色素変性症協会
（コウエキシャダンホウジンニホンモウマクシキソヘンセイショウキョウカイ）
ダイダン株式会社　（ダイダンカブシキガイシャ）
ノバルティスファーマ株式会社　（ノバルティスファーマカブシキガイシャ）
バイエル薬品株式会社　（バイエルヤクヒンカブシキガイシャ）
PLAYWORKS株式会社　（プレイワークスカブシキガイシャ）
有限会社ダイユー/DAIYU LIGHTING
（ユウゲンガイシャダイユー/ダイユーライティング）
有限会社テイクス　（ユウゲンガイシャテイクス）
和研薬株式会社　（ワケンヤクカブシキガイシャ）

■寄附■

浅田　一憲　(アサダ　カズノリ)
飯野　初生　(イイノ　ハツオ)
稲垣　千代子　(イナガキ　チヨコ)
井本　学明　(イモト　ガクミョウ)
井本　清江　(イモト　キヨエ)
井本　匡飛　(イモト　マサタカ)
梅澤　正道　(ウメザワ　マサミチ)
加藤　浩子　(カトウ　ヒロコ)
川端　輝彦　(カワバタ　テルヒコ)
神田　信　(カンダ　シン)
北地　達明　(キタチ　タツアキ)
木村　郁夫　(キムラ　イクオ)
栗和田　榮一　(クリワダ　エイイチ)
髙橋　淳　(タカハシ　ジュン)
田中　桂子　(タナカ　ケイコ)
中井　正憲　(ナカイ　マサノリ)
濱田　す衆子　(ハマダ　スエコ)
平見　恭彦　(ヒラミ　ヤスヒコ)
藤原　りつ子　(フジワラ　リツコ)
前川　喜美恵　(マエカワ　キミエ)
万代　道子　(マンダイ　ミチコ)
山下　秀明　(ヤマシタ　ヒデアキ)
若宮　正子　(ワカミヤ　マサコ)

一般社団法人 あおによし音楽コンクール奈良
(イッパンシャダンホウジン　アオニヨシオンガクコンクールナラ)
一般社団法人　チャレンジド・ヨガ　(イッパンシャダンホウジン　チャレンジド・ヨガ)
ウェルビーイング女子大学　(ウェルビーイングジョシダイガク)
会員制サロン クラシカ　(カイインセイサロン クラシカ)
株式会社ASTO System　(カブシキガイシャアストシステム)
國松昭子基金　(クニマツアキコキキン)
篠原電機株式会社　(シノハラデンキカブシキガイシャ)
ショパニストアーツ　(ショパニストアーツ)
住友ファーマ株式会社　(スミトモファーマカブシキガイシャ)
谷眼科医院　谷恵美子　(タニガンカイイン　タニエミコ)
ハルズベーカリー　(ハルズベーカリー)
兵機海運株式会社　(ヒョウキカイウンカブシキガイシャ)
網膜色素変性症の患者と家族の会
(モウマクシキソヘンセイショウノカンジャトカゾクノカイ)
ラジオ大阪　ラジオ・チャリティ・ミュージックソン
(ラジオオオサカ　ラジオ・チャリティ・ミュージックソン)

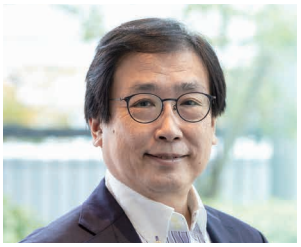
■パートナー■

Platinum　シスメックス株式会社　(シスメックスカブシキガイシャ)
Gold　中外製薬株式会社　(チュウガイセイヤクカブシキガイシャ)
Bronze　参天製薬株式会社　(サンテンセイヤクカブシキガイシャ)

■助成■

日本財団　(ニッポンザイダン)

■代表理事ごあいさつ■



公益社団法人NEXT VISION
代表理事　仲泊 聡

2023年6月、公益社団法人NEXT VISION（NV）の三宅養三前代表理事からバトンを引き継がせていただきました仲泊聡と申します。この度、神戸アイセンターが６周年を迎えるにあたり、NVを代表しましてご挨拶申し上げます。コロナ禍はまだ終息していないにもかかわらず、世の中では、なし崩し的に対面の業務も再開されるようになりました。ビジョンパークでは、それに呼応しつつも慎重に事業を再開し、現在ではコロナ禍前のあの活気を徐々に取り戻しつつあります。

さて、本年度も多大なご寄付（ふるさと納税も含む）、賛助会員の皆様からの会費、企業パートナー様からの協賛金等を頂戴いたしました。ご厚情を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。NVの事業目的は、すべての視覚障害者の福祉向上と科学技術の発展に寄与することです。そのために、視覚障害者の日常生活、就労などの社会参加活動等に対する様々な支援、機能向上・回復のためのリハビリテーションを含む技術開発、さらに眼科領域における調査・研究を私たちは行ってまいりました。今回頂いた資金はこれらの事業に活用させていただきました。

近年、視覚障害者の支援サービスは、福祉領域だけでなく、眼科医療の中でも、ロービジョンケアとして浸透しつつあります。しかしながら、この分野の医療報酬は極めて少額で、一般医療者のモチベーションが今ひとつ盛り上がらないのが現状です。学会や政府に働きかけるには、その重要性を周知するため、説得力の有るデータが必要となり、これを集めるのもNVの最重要課題です。

この仕事は、私たちだけでなく、病院、研究所、企業、そして視覚障害者が一体となって、初めて成し遂げられるものと思います。すべての皆様が、安心安全にそして楽しく過ごすことができる社会を作るために、私たちは日々努力を重ねてまいります。今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人NEXT VISION

令和４年度事業報告書

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

1. 視覚障害者に対する直接支援事業（公益目的事業①）

（１）当事者向け講座、セミナー事業

遠隔で当事者、家族、支援者への情報提供を行い、地域性による情報格差を軽減し、全国の情報障害者を減らします。

１）ビジョンパークチャンネル

登録者数：698人

iPhone•iPad活用ラウンジ、ロービジョンの集いなどのイベントをオンラインで開催し、動画および音声をビジョンパークチャンネルに公開しました。

（総評）

コロナ禍以降はビジョンパークで実施していたイベントを、Zoomを使ったオンライン開催に変更したことで参加者が増加、リアルタイムに参加できない方がいつでも視聴できるよう、ビジョンパークチャンネルで動画を公開したことでさらに多くの方に情報をお届けすることができました。

居住する地域を問わない情報処方を行うことができ、お一人お一人のニーズに合った情報提供及びテクノロジー支援を行いました。

参加者には視覚障害者だけでなく、支援者やご家族も含まれていたことから、今後は医療従事者や教育関係者も含めてより多くの方に、情報提供およびロービジョンケアに関する理解を広めるために、得られた運営•開催方法に関する知見を活かして本事業を継続したいと考えます。

２）iPhone • iPad活用ラウンジ

開催日・ゲスト名・オンライン参加人数・内容

2022/4/25　　ゲスト：石川准さん　　参加者129人

ゲストは、2022年3月末まで静岡県立大学国際関係学部教授だった石川准さんをお迎えし、これまでのご自身の取り組みやICTの便利な活用法、そして未来の展望をお伺いしました。石川さんは現在、内閣府障害者政策委員会 委員長としてご活躍されています。

支援工学分野の研究として、日本語英語自動点訳プログラムエクストラの開発、点字携帯情報端末であるブレイルセンスの日本語対応、GPS歩行支援システムなど先進的な研究開発をされています。

2022/5/23　　ゲスト：相沢浩貴さん　　参加者155人

LINEオープンチャット「VoiceOverコミュニティ」を立ち上げた相沢浩貴さんをゲストにお迎えし、見えにくくなった暗黒の時代からiPhone4を持って世界が変わったというエピソード、現在準備中のNPOで実現したいビジョンを熱く語っていただきました。

2022/6/27　　ゲスト：吉泉豊晴さん　　参加者114人

日本視覚障害者団体連合（日視連）の情報部長である吉泉豊晴さんをゲストにお迎えし、ご自身がiPhoneの講座で取り残されたというエピソードから、現在は便利なツールとして活用されているお話をお聞かせいただきました。

タクシー利用で使っているアプリの紹介では、デジタルとアナログの両面が生かされた興味深いお話を聞くことができました。

また、日視連で行った視覚障害者の情報機器の活用に関する実態調査の結果や今後の展望として、AIの手法を使ってみた感想もお話いただきました。

2022/7/25　　ゲスト：斎藤正夫さん　　参加者117人

株式会社アクセス・テクノロジー　代表取締役社長の斎藤正夫さんをゲストにお迎えし、我が国初のスクリーンリーダー開発のお話から、現在盲導犬と共に歩く上で欠かせないiPhoneのアプリの活用法をお話しいただきました。

また、視覚障害者の困難をエレクトロニクスの技術やコンピュータのプログラミングで解決してこられた取り組みをたっぷりとお話していただきました。

2022/8/22　　ゲスト：東京都障害者IT地域支援センターさん
参加者112人

ゲストには、iPhone・iPadなどのアプリの情報をWebページで公開している東京都障害者IT地域支援センターの担当者をお迎えし、センターの事業内容を詳しく紹介していただきました。

また、国際福祉機器展 HCR2022に出展するコーナーの取り組みについてもお話しいただきました。

2022/9/26　　ゲスト：荒川明宏さん　　参加者113人

ゲストには、株式会社ラビット代表取締役社長で、サイトワールド実行委員長の荒川明宏さんをお迎えし、ご自身の就職時から会社設立までの熱い思いをお聞きしました。

また、iPhoneの文字入力を電車の中などで携帯してキー入力するQwertyCase Patchの活用法や便利に使っているアプリなどを紹介していただきました。

2022/10/24　　ゲスト：辻勝利さん　　参加者91人

ゲストには、NVDA日本語チーム代表の辻勝利さんをお迎えし、視覚障害者が対等に活躍できるアクセシブルが当たり前の世の中に変えたい！という熱い思いをお話しいただきました。

また、辻さんが日本語化に協力した視覚障害者が楽しめるゲームの紹介やアップルTVプラスの楽しみ方などもお話しいただきました。

2022/11/28　　ゲスト：渡辺哲也さん　　参加者100人

ゲストには、新潟大学工学部教授の渡辺哲也さんをお迎えし、視覚障害者のICTに関する研究を中心にお話しいただきました。

日本で最初のGUIベースのWindows用のスクリーンリーダーの開発のお話しから、iPhoneのボイスオーバーの日本語の漢字の詳細読みに採用された漢字の読みの研究など興味深いお話をお聞きできました。

また、最近の取り組みとして視覚障害者と触地図、視覚障害者と3Dプリンタに関する研究の成果を渡辺先生の研究室のホームページからリクエストできる耳よりの情報もお聞きできました。

2022/12/26　　ゲスト：高知システム開発さん　参加者110人

点毎文化賞を受賞された高知システム開発さんをお迎えし、取り組みをご紹介いただきました。また、今後発表予定のソフトウェアの新機能についてもお話をお聞きしました。

2023/1/23　　ゲスト：小田浩一さん　　参加者117人

ゲストには、東京女子大学教授の小田浩一さんをお迎えし、パソコン黎明期から視覚障害者に対するITの活用を推進された取り組み、未来のデジタル化まで、とても興味深いお話をお聞きできました。

スティービー・ワンダーも使用していたユリーカA4というオーストラリアのRobotron社製の視覚障害者用点字入力音声パソコンの日本語対応の開発に関わられたお話、iPadでMNREAD-Jという読書評価チャートの測定ができるアプリの紹介など、将来の可能性もお話しいただきました。

2023/2/27　　ゲスト：日本視覚障がい情報普及支援協会さん
参加者114人

特定非営利活動法人日本視覚障がい情報普及支援協会(JAVIS)さんをお迎えし、取り組みをご紹介いただきました。

20年目を迎えるJAVISの活動の内容、音声コードUni-Voiceで、紙のパンレットや封書、年金額や処方箋薬剤情報などの情報を音声で確認できるシステム、さらに、紙媒体だけでなく新たにオンラインのデジタル情報にアクセスする取り組みについてもお話いただきました。

2023/3/27　　ゲスト：氏間和仁さん　　参加者111人

今回は広島大学大学院教育学研究科准教授の氏間和仁さんをお迎えし、取り組みをご紹介いただきました。氏間研究室では、ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実のための研究や実践を行っておられます。

ご自身が弱視児童生徒として盲学校で学び、盲学校の理療科教員から大学教員となり、視覚障害者をはじめとする幅広い年代の方のICTの積極的な活用の支援をされておられる取り組みから今後の展望までをお聞きできました。

（総評）

視覚障害支援に関わる先人たちから多くの知見を学ぶことができました。次年度4月以降は過去に登壇いただいたスペシャルゲストとのさらなる深掘り対談やさまざまなテーマを設定して変化に飛んだ対話会を継続していく予定です。

3）研修

●NEXT VISIONセミナー

開催日・タイトル・講師名・オンライン参加人数

2022/6/5　第6回未来の眼科診療はどう変わる？
講師：髙橋政代　参加者：140人

2022/12/8　第7回神戸iクリニックとオンライン診療
講師：髙橋政代　参加者：45人

2022/12/11　第8回神戸iクリニックとオンライン診療
講師：髙橋政代　参加者：188人

2023/3/14　第9回神戸iクリニックとオンライン診療
講師：髙橋政代　参加者：128人

●企業向けセミナー

開催日：2022/9/7

●研修見学

開催日・対象

2022/4/26
5/13
5/16
6/22
　神戸アイセンター病院新入職員（誘導研修）

2022/8/19　社会福祉法人研修生

2022/8/26　専門学校視能訓練士学科学生（講義）

2022/9/13　視聴覚障がい者支援センター施設利用者

2022/11/9
11/30
　神戸アイセンター病院全職員（全体研修）

●「私の見え方・見えにくさ」伝え方講座

本講座は対面での講習であり、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

●寄り添い方講座

本講座は対面での講習であり、新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

（総評）

いずれの研修も参加者の利便性を考え、対面だけでなくオンラインによるセミナーを開催しました。

コロナ禍で実習ができない視能訓練士を目指す学生に対しては、オンラインで講義を行うことで、卒業後の実践に必要な知識の習得につながったと考えます。

さまざまな立場の人々が必要とする情報や知識を適切なタイミングで提供できるよう、次年度以降もセミナーの開催を予定しています。

●心の眼プロジェクト

2022年12月から2023年3月まで、全4回の「しんがん（心眼・真眼）～視覚障害ってなに？視覚障害者ってどんな人？をみんなで考えるラップ講座～」を22人の受講者を対象に開催しました。

2022/12/3　晋平太氏と対面講座
場所：神戸アイセンター（ビジョンパーク）
2023/1/28　リモート講座
2023/2/25　リモート講座
2023/3/25　晋平太氏と対面講座・ラップ発表
場所：神戸アイセンター（ビジョンパーク）

最終成果物としてフリーラッパーである晋平太氏がオリジナルラップ「ひかり」を制作しました。

動画は一般社団法人日本ラップ協会のYouTubeチャンネルを通じてNEXT VISIONのウェブサイト等で公開しています。

本プロジェクトについて神戸新聞に掲載された記事

（総評）

参加者からは

・言葉にあらわせないくらいめちゃめちゃ感動しています。
・何度も何度も拝聴して、その度にやる気と元気と勇気がみなぎってきています。
・素敵な楽曲をありがとうございました。

といった感想が寄せられており、ラップ講座を通じて参加者一人一人が自分自身の病気や障害に向き合い、内省できたことで障害受容につながったと考えます。

また、このラップが社会に広がることで視覚障害や視覚障害者の理解につながるものと考えており、今後もSNS等を使った拡散に努めます。

●第４回視覚障害者雇用の未来を考えるフォーラム
2022/11/23　参加者：230人

今年もコロナ禍の状況下、昨年同様、完全オンラインで実施しました。

第１部は「証券会社での業務に加えて、コーチングという副業を実施している当事者」「日本で初めて全盲の保育士として勤務している当事者」「通信営業職という新しい試みにチャレンジしている企業で勤務する当事者」より就労の可能性について発表していただきました。

第２部では、パネルディスカッション形式にて、当フォーラムのテーマでもある「視覚障害者の就労についての現状と課題、そして未来への可能性」について、第1部の発表から見えてくる「今まで気づいていなかった可能性」も踏まえて議論を行いました。

（総評）

申込者も増加し、開催案内を所属団体の広報誌で紹介したいとの連絡があったり、当日の資料の問い合わせやアーカイブの希望など連絡をいただき、４回目となる本イベントの認知度や期待が高くなりました。

また、参加者も視覚障害当事者、支援者だけでなく、行政、民間企業等多様な職種の方が参加され、広がっています。厚労省の雇用対策課の小野寺課長にもご参加いただきました。

就労事例の発表は、多くの参加者に勇気を与える内容で、視覚障害者の就労の困難さや解決の手がかりとなる充実した内容だったと高く評価していただきました。パネルディスカッションも視覚障害者の就労の可能性を広げる有意義な議論ができました。引き続き関係団体と協力して就労問題の解決に取り組みたいと思います。

●職場ぐるみで取り組む社内のアクセシビリティ
2023/3/5　　参加者：270人

本イベントは、視覚障害者の就労問題として、見えない、見えにくい社員も共に働きやすい環境の実現を目的に認定NPO法人タートルとの共催イベントとして本年初めて開催しました。

isee! Working Awards で受賞された視覚障害者と共にインクルーシブな職場を実現している3つの企業に取り組みを紹介していただきました。企業の一員として専門知識を生かしながら生き生きと働く視覚障害者と、同じ企業で働く晴眼者が登壇し、チームとして働く上での取り組みや、工夫、互いの気づきなどを発表していただきました。

動画は右記に公開されています。

（総評）

事後アンケートの結果では、高評価をいただきました。寄せられた意見としては、「他の組織での具体的な取り組みを詳しく聞けた」「受けいれる企業、人がどう考えているのか知ることができた」「当事者・晴眼者、それぞれの立場の意見が聞けた」など大変参考になったという意見を多数いただきました。

isee! Working Awardsで受賞された企業の取り組みを広く社会に発信することが、障害者も共に働くインクルーシブな企業を目指す指針として、社会が目指すべき「持続可能な共生社会」の実現につながることを確信しました。今後もこのような取り組みを継続したいと思います。

●視野障害者の安全運転支援プロジェクトセミナー

視野障害者の安全運転支援プロジェクトの啓発活動として下記セミナーの開催に協力しました。

2022/7/31　運転外来ってどんなことをするの？
～安全運転に必要な、ためになる話
講師：國松志保先生
開催形式：オンライン
参加人数：103人（申込188人）

動画

2022/11/13　視野障害があっても
技術の支援で安全な運転はできる？
講師：伊藤　誠先生
開催形式：オンライン
参加人数：64人（申込118人）

動画

2023/3/5　緑内障のた目（め）になる話
講師：國松志保先生
開催形式：オンライン
参加人数：76人（申込120人）

動画

（総評）

視野に障害があっても、自分の見え方や運転時に注意すべき点を知ることで運転を継続できる可能性があり、正しい知識や情報を得たうえで運転していただくことが重要です。

また、視野に障害があると気づかず運転をしている方には、本セミナーを通して眼科検診をおすすめすることで病気の早期発見、治療につながり、ひいては交通事故の低減につながるものと考えます。

今後もこのようなセミナー実施に協力することで、視覚障害に関連するあらゆる課題の解決につなげていく予定です。

（2）当事者向け体験事業

見えない•見えにくい方を対象として、スポーツや映画鑑賞などさまざまな文化体験をしてもらい、病気や障害の有無に関わらず、趣味や生きがいを見つけて社会生活を楽しむ機会を設けることで、見えない•見えにくい方を支援する活動等を行います。

1）eスポーツ　G-1グランプリ

ゲームのアクセシビリティ（障害者補助機能）の紹介や、ツール活用などの工夫•アイデアを共有し、娯楽の教育的意義を考えるイベントを実施しました。

2023/2/19　第3回　　参加者：29人（うちエントリー：10人）

賞名•受賞者名

グランプリ作品賞	ギアラチャンネル
キッズ作品賞	つか君
特別作品賞	松尾政輝

動画は右記に公開されています。

（総評）

社会処方の一環として、ゲームを通したコミュニケーションや社会参加を支援する企画で、視覚障害者や肢体不自由の当事者たちによるアイデアを共有することに始まり、ゲームが持つ社会性や教育効果について当事者でもある教育者や当事者とゲームのアクセシビリティ機能の現状や今後の期待などを3時間に渡り対話しました。

本企画を通して、ゲームによる障害種別を超えたコミュニケーション活性化や社会的接続強化といった社会的意義や効果について確かな手応えを感じており、今後社会的処方箋としてゲームの教育効果や社会的•心理的回復効果を検証していく予定です。

次年度もeスポーツの実施、ゲームアクセシビリティの知識処方を行い、障害種別を超えた参加者による、ゲームを通した対話文化の醸成を目指します。

2）クライミング

新型コロナ感染拡大対策のため開催できませんでした。

（総評）

本年度は昨年に続き新型コロナ感染対策に伴い実施することはできませんでしたが、新型コロナも落ち着きを見せているため、今後は開催形式の見直しも含めて再開を検討していく予定です。

3）体幹トレーニング

開催日：参加人数

2022/4/22	参加者：28人	2022/11/25	参加者：22人
2022/5/20	参加者：29人	2022/12/16	参加者：28人
2022/6/17	参加者：32人	2023/1/20	参加者：32人
2022/8/26	参加者：27人	2023/2/24	参加者：40人
2022/9/16	参加者：27人	2023/3/17	参加者：28人
2022/10/21	参加者：29人		

（総評）

オンラインを活用し画面を通して、あるいは音声のみで運動を行っていただくことができました。ご自宅だけでなくオフィスや病院の待合室など外出先からの参加者がいました。今後も場所を問わず、年齢や性別に関係なく、どなたでも行える体幹トレーニングは心と体の健康維持・健康増進の役割を担っていくと思いますが、時間や回数を増やしてほしいという要望があることから次年度以降は有料事業として実施を検討しています。

4）チャレンジド・ヨガ（オンライン無料体験会）

2022/11/30　椅子ヨガ30分＋サットサンガ（お話し会）
参加者：35人

（総評）

チャレンジド・ヨガの協力を得て、ハイブリッド形式で開催しました。オンライン参加者は外出することなく自宅で気軽に楽しめただけでなく、ビジョンパークでは10人が対面参加したことで、病院に来られていた患者さんがヨガに興味を持つきっかけになりました。次年度も継続して、ハイブリッドで開催する予定です。

5）視覚活用訓練

毎月主として第四金曜日にビジョンパークで原田理事が行った訓練事業です。保有視野を有効に活用するためのノウハウについて紹介し、目を動かしながら、そのコツを体得するトレーニングを行なっています。

午前を再診枠、午後を初診枠として設定し、合計26人の希望者に対して、有償で訓練を行いました。対象者の主な眼疾患は網膜色素変性（7名）、緑内障（7名）等による視野欠損と黄斑変性（3名）等による中心暗点、頭蓋内疾患（3名）による同名半盲でした。

（総評）

アイセンター病院からの紹介者の初回は無料とし、2回目からは相談料として3000円を頂きました。少しずつ再診の方が増えてきています。本事業を通して、参加者の方は、それまでに自覚していなかった保有視覚を認識し、生活上の安全と安心を獲得できたと喜ばれています。現時点では科学的な証拠を得ることができていませんが、今後はそれも得られるように事業計画を立てていきたいと考えています。

（3）カウンセリング事業

1）ロービジョンの集い

見えない・見えにくい方を中心にそのご家族や支援の専門家などが集まり、日常生活での困りごとや情報の共有を行うほか、誰もが気軽に相談ができる集いの場を提供しました。開催方法はオンラインで、今年度は13回開催し、参加者数はのべ842人でした。

開催日・タイトル・参加人数・動画または報告書リンク

2022/4/27　第112回
「Ashirase(あしらせ)について聞いてみよう」
参加者：112人

2022/5/31　第113回
「こころとからだの健康を考える集い」
参加者：5人

2022/7/10　第114回
「ガズレレ！YouTubeで簡単ウクレレ！
でおなじみのガズさん初登場！」
参加者：62人

2022/7/26　第115回
「将来の夢や進路を考える集い」
参加者：5人

2022/8/21　第116回
「加齢黄斑変性とは～予防方法から治療～」
参加者：98人

2022/9/6　第117回
「LinkBudsシリーズ開発秘話とその可能性」
参加者：109人

2022/9/27　第118回
「家事や趣味を楽しむ集い」
参加者：141人

2022/10/25　第119回
「プロのオペレーターってどんな感じだろう？
「アイコサポート」について」
参加者：88人

2022/11/29　第120回
「人生を語り楽しむ集い」
参加者：27人

2022/12/7　第121回
「冬の長い夜を楽しもう！ テレビ、ラジオ、
動画配信サービスなどあなたのおすすめを
教えてください」
参加者：70人

2023/1/31　第122回
「見えない、見えにくい子どもさんを
持つ親の集い」
参加者：19人

2023/2/14　第123回
「関西初上陸！視覚障がい者向け
ナビゲーションシステムshikAI（シカイ）」
参加者：101人

2023/3/28　第124回
「仕事や家族のことを考える集い」
参加者：5人

（総評）

2021年度に引き続きオンラインにて開催しました。オンライン開催となり、参加者が増えたことで本来の目的である生活での困りごとや悩みを誰もが気軽に相談ができるという雰囲気が失われてしまう可能性があったことから、テーマごとに参加人数を限定し、オンラインであっても話しやすい環境を作り、心理的安全性を担保しました。

居住地に関係なく、知りたい情報、必要な情報を自宅や職場からに入手できたと喜ばれました。

2）相談コーナーの運営

神戸アイセンターでは、「神戸アイセンター病院×ビジョンパーク連携カード」という連携カードによって神戸アイセンター病院の医師や視能訓練士、看護師などがロービジョンに関する情報提供が必要と感じたときに連携カードを発行する取り組みを行いました。

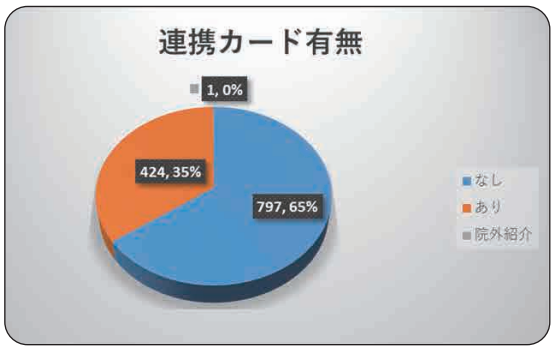
	2022									2023			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カードあり	50	21	46	34	34	32	36	26	37	30	33	46	425
カードなし	82	93	90	65	54	36	79	61	55	54	63	67	799
計	132	114	136	99	88	68	115	87	92	84	96	113	1,224

（表1）相談件数（件）

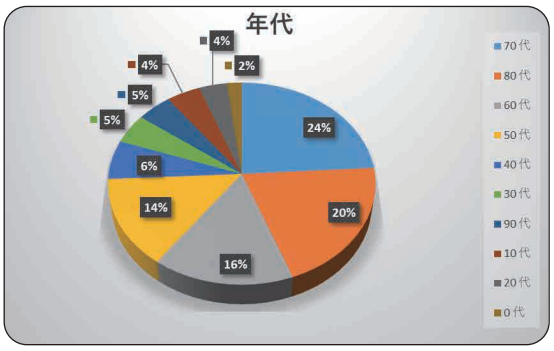
2022年度の相談件数は、連携カードありの相談が425件、連携カードなしの相談が799件、合計1,224件となりました。（表１）

2021年度は連携カードありの相談が309件、連携カードなしの相談が587件、合計896件で2022年度の相談は約37%増となりました。

また、連携カードなしの相談には近隣の病院・クリニックからの紹介1件が含まれていました。（図１）対応した相談者の年齢については60歳代以上が60%となりました。（図２）



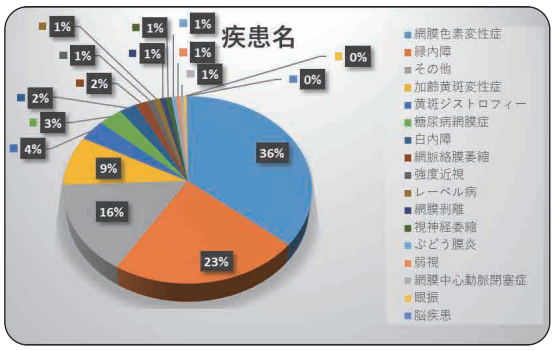
（図１）連携カード有無による相談件数（割合）



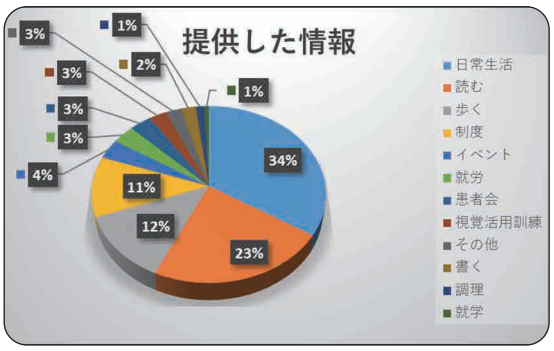
（図２）相談者の年代（割合）

対応した疾患は網膜色素変性が36%、緑内障が23%で全体の約6割でした。（図３）

相談を受けて提供した情報の内容は多岐に渡りますが、日常生活に関する相談が34%、読みに関する相談が23%、歩行に関する相談が12%、身体障害者手帳や障害年金に関する相談が11%でした。（図４）



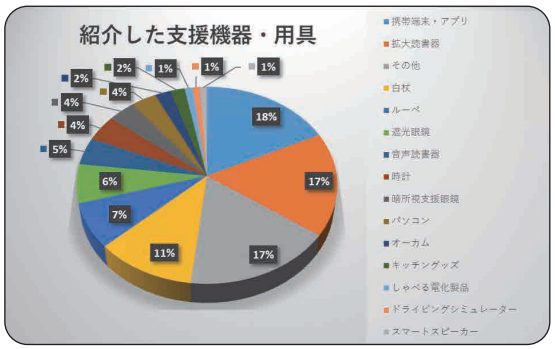
（図３）相談者の疾患名（割合）



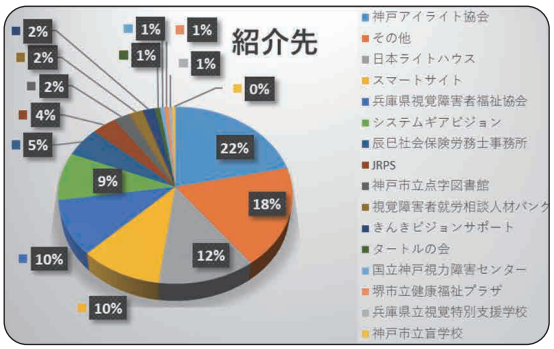
（図４）相談で提供した情報の内容（割合）

相談を受けて紹介した支援機器や用具は、携帯端末・アプリが18%、拡大読書器が17%、白杖が11%でした。（図５）

紹介先としては神戸アイライト協会が２２%となっており、神戸市内にお住いの方の相談が多かったと言えます。（図６）相談件数が1,224件を超えていることから相談する困りごとや悩みが一つでなく重複しており、多岐に渡る相談内容に対応するため、下記の支援機関や団体をご紹介しました。（表２）



（図５）紹介した支援機器・用具（割合）



（図６）紹介した支援機関・団体（割合）

紹介先	件数
神戸アイライト協会	268
日本ライトハウス	153
スマートサイト	129
兵庫県視覚障害者福祉協会	126
システムギアビジョン	109
辰巳社会保険労務士事務所	67
JRPS	46
神戸市点字図書館	31
視覚障害者就労相談人材バンク	26
きんきビジョンサポート	23
タートルの会	10
国立神戸視力障害センター	8
堺市立健康福祉プラザ	8
兵庫県立視覚特別支援学校	7
神戸市立盲学校	6
その他	227
合計	1, 244

（表２）紹介した支援機関・団体（件数）

紹介する支援機関や団体がビジョンパークで直接相談を受けてくださる活動が定着しており、2022年度は12機関・団体が計235回の相談を行いました。（表５）。

また、新型コロナウイルス感染拡大対策として対面相談ができない機関・団体もオンライン対応として事務所待機・随時対応をしてくださいました。

全体的には、相談コーナーの開設回数は前年の207件から14％増の235回となっており、対面による相談対応が増加傾向にあります。

団体名	実施回数
網膜色素変性症協会（生活とピアサポート）	42
神戸アイライト協会（生活・就労相談）	15
日本ライトハウス情報文化センター（生活相談・サピエ体験）	11
日本ライトハウスリハビリテーションセンター（生活・就労相談）	0
神戸視力障害センター（生活・就労相談）	5
Gラウンジ（iPhone/iPad相談）	12
神戸市立盲学校（教育・就労相談）	11
兵庫県立視覚特別支援学校（教育・就労相談）	16
きららの会（若年層の生活・就労相談）	0
堺市立健康福祉プラザ（生活相談）	0
兵庫県立視覚障害者福祉協会（生活・就労相談）	0
きんきビジョンサポート（生活・就労相談）	8
アイ・コラボレーション神戸（AIスピーカー相談）	3
神戸市立点字図書館（生活相談・サピエ体験）	15
兵庫盲ろう者友の会（生活相談）	10
システムギアビジョン（拡大読書器体験）	25
兵庫県立点字図書館	0
大阪府立大阪北視覚支援学校	0
視覚障害者就労相談人材バンク相談	62
合　計	235

（表５）支援協力機関・団体と相談コーナー開設数（回）

３）遠隔支援サービス

本事業は、仲泊理事が2017年度～2020年度に行なったAMED研究の一般事業化です。一般眼科に通院する視覚障害者に対してテレビ電話を介して情報提供に取り組みます。需要はあるものの、全国的に広がりを見せているオンライン診療との住み分けが難しく、特に持続可能な資金調達の点が課題となっています。昨年度、ふるさと納税の活用を試みましたが、それも途上で立ち止まったままとなっています。令和4年度では、神戸iクリニックが開業し、同様のサービスであるオンライン診療が始まったため、当法人としての本事業は一旦様子見で休止といたしました。

（総評）

当法人が神戸iクリニックと共同事業として何ができるかを模索してまいりました。まずは、当該診療所のオンライン診療の後押しが必要と考え、NEXT VISIONセミナーとして髙橋理事による理念の説明会を複数回開催しました。今後、当該診療所の運営が軌道に乗ったところで、さらにどのような協力体制が構築可能かについて検討して参ります。

（４）研究開発事業

情報化社会が進む中で見えない・見えにくい方の生活・就労支援に寄与する最新テクノロジーに関する研究開発を行い、その成果を社会還元することにより、見えない・見えにくい方の自分らしく生きられる、やりたいことを自分でできる未来の実現に資することを目的とします。

１）眼球運動異常による読書困難の色フィルターによる支援

色フィルターによって読書困難が改善するという報告があります。しかし、その科学的根拠は明確ではなく、眼科保険診療の中でこれを薦めることは現時点では困難です。そこで、当法人の情報提供事業としてまずは、色フィルターが読書困難を改善できるかについての経験を積み、これをもとに研究事業として行なっていくための準備を行います。特にこのような支援の対象となる方の中にはいわゆる眼筋麻痺とは異なる種類の眼球運動異常が認められるという報告もあり、この両者を比較できるように研究計画を立てていく予定です。

（総評）

現在はまだ、そのような対象となる方を探している段階です。視力低下や視野異常がなくても読書困難を訴える方を対象として、色フィルターによる読書困難の軽減が得られるかについての経験を積み重ねています。実際のところ、そのような方もおられ、喜ばれることも少なくないのですが、再現性に欠けるところも否定できず、まだ、研究計画にはいたっていません。今後も情報提供という枠組みでの色フィルターの紹介を続けていく予定です。

２）視覚障害者の転落事故低減を目的とする電子歩行補助具の
路面環境情報伝達法に関する研究

JR西日本あんしん社会財団の研究費助成金により九州工業大学石井研究室との共同研究で、2021年8月までの事業継続となっていたものです。本年度は、改めて単年度の研究助成を受け、iPhone12のLiDARセンサーとApple Watchの振動機能を活用して、より一般的なアプリの開発を行いました。白杖先端のさらに約50cm前方に落ち込みがある場合だけ振動するように設定することにより、ホーム転落の危険を減少できるものを作成することができ、年度末にはその実証実験を兵庫駅和田岬線ホームにて行いました。

（総評）

本研究の成果として、開発したプログラムは、「isee cane」と名づけてAppleのアップストアのベータ版をダウンロードできるTestFlightに置きました。また、これに関連した2本の英文論文を雑誌に掲載することができました。ここで本研究事業は一旦終了とさせていただきます。

３）視覚障がい者職域拡大プロジェクト
強みを生かす！視覚障がい者、活躍の場の拡大へ

株式会社資生堂による令和3年度のisee! ″Working Awards″での入賞アイデアへの協力事業です。同社に入職された2名の視覚障害者の社内サポートとその広報活動に対して、毎月一回のミーティングに初瀬理事、仲泊理事、和田、山田が委員として参加し、継続的なアドバイスを行いました。その結果、当該社員の職場定着が実現し、同社による障害福祉業界での事例報告を就労支援フォーラムおよびisee! ″Working Awards″で行うことができました。

（総評）

同社内での視覚障害者による一般業務の定着とそのノウハウの広報に対して支援することで、他社への情報伝播による効果が期待できます。実際に就労支援フォーラムおよびisee! ″Working Awards″の後に当事者や就労関係者からの好意的な感想や問い合わせをいただくことができました。

４）視野障害を有する者に対する高度運転支援システムに関する研究

本事業は、COI-NEXT（研究代表：東北大学眼科）による研究費助成事業の一環として行われているものです。当初の予定では、眼球運動計測システムを導入し、2022年末までに測定環境を整え、2023年に視野・視覚障害者ならびに健常者計30名の測定を予定していました。しかし、眼球運動計測システムの一部を成す暗室の設置のための許可を施設管理部門から得るのに時間がかかったこと、またシステム設置後の測定環境構築において計測用プログラムが所定の挙動を示さず、その原因究明・問題解決に時間がかかったことから、今年度末までに被験者を対象としてデータを取得するまでには至りませんでした。ただし、これまでに測定環境の構築は終え、デモ計測では問題なくデータが取得できることを確認しました。また研究開始のための倫理審査の承認にもめどがついたことから、来年度早期にデータの取得を開始できる見込みです。

（総評）

被験者データの取得には至りませんでしたが、実験装置のセットアップは終わり、これからデータを取り集める予定です。

2. 視覚障害者に対する間接支援事業（公益目的事業②）

（1）コンテスト事業

１）isee! ″Working Awards″2023

今年で７回目となる「isee! ″Working Awards″」は、「就労」に焦点をあて、視覚障害者（見えない、見えにくい人）がどのように働いているのか【事例】、また、どうすれば働けるのか、あるいはどんな働き方ができるか【アイデア】を募集しました。

応募された【事例】と【アイデア】を審査員に選んでいただき、広く社会に発信することで、視覚障害者の社会参加、就労、ひいては社会の戦力として働き、社会の損失を軽減させることを目的としています。

募集期間：　2022年7月1日（金）～10月31日（月）
授賞式：　2023年3月12日（日）　12:15～14:45
開催方法：　神戸と仙台のリアル会場をオンラインでつなぎ、
ウェビナーで配信

参加者数は、神戸会場48人、仙台会場46人、ウェビナー77人 計171人でした。

本年の応募数は、38件で、内訳は、事例部門が18件、アイデア部門が20件でした。昨年よりも事例部門は7件、アイデア部門は1件の増加ではありますが、まだ応募数が少ないため、一層の啓発が必要です。コロナの影響が少なからず出ていると思われますが、人の動きも活発になっているので、積極的な働きかけをしたいと思います。

審査の結果、事例部門の入賞が9件、入選が8件でした。また、アイデア部門の入賞が7件、入選が10件でした。

事例部門入賞（ 5 件）				
No	受賞者	種別	タイトル	受賞名
1	大和リース株式会社　人事部インクルージョン推進室	団体	『 大和リースの思いやり ハンドブック』 誰もがイキイキと活躍できる企業へ	MIP賞
2	小川みき	個人	目が不自由でも自分で選んだ職に就こう！ 子ども達に囲まれて保育士15年目	MSP賞
3	Abdin Mohamed	個人	視覚障がい学生向けの就活ワークショップ	MSP賞
4	前北　奈津子	個人	悲しみ乗り越えて。フィールドは変わっても 対人支援のプロを目指し続ける！	MEP賞
5	タートルICTサポート プロジェクト	団体	タートルICTサポート プロジェクト 視覚障害があっても当たり前に働ける環境を	METP賞 日本眼科医会賞
事例部門入選（ 4 件）				
1	杉田　啓之	個人	どうして就労を継続できたのだろうか。―ＲＰ患者としての企業人生３６年―	入選
2	TZO48	団体	視力障害者が中心に運営する飲食業 TZO48（ TZOフォーティーエイト ）	入選
3	日本コカ・コーラ株式会社 石黒 友子	団体	社内を超えて社会へ。視覚障害を持つ社員が自ら周囲を巻き込み、大きな周知活動に	入選
4	八巻　真哉	個人	ガム配りからの人生〜医療、福祉、教育、接客から生まれたヒューマンエンジニア〜	入選
アイデア部門入賞（ 5 件）				
No	受賞者	種別	タイトル	受賞名
1	小杉 舞奈菜	個人	「 視覚障害者ならでは」のデザイナー 〜私も使いたくなる可愛いグッズ〜	価値転換賞
2	滝浪　明莉	個人	ハンデを強みにインテリアデザイナー	価値転換賞
3	特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシスト ネットワーク(SPAN)	団体	無償での遠隔就労PCサポートの実施 公的支援が受けられない視覚障害者を支援	環境整備賞
4	ViXion株式会社・株式会社フレアス	団体	暗所視支援眼鏡MW10の活用により考える マッサージ業界で視覚障害者の就業・生活改善	環境整備賞
5	資生堂ジャパン株式会社	団体	強みを生かす！視覚障がい者、活躍の場の拡大へ	ビジネスプラン賞 日本眼科医会賞
アイデア部門入選（ 10件）				
1	山元　正史	個人	ピアサポートにて自己肯定感の相互アップと的確な合理的配慮を目指して	入選
2	青木隆一	個人	「 触る」ことを大切にしてきた視覚障害者の強みを生かした資格「 触診師」	入選
3	野々垣美名子	個人	スクリーンリーダーNVDAの解説についての紙書籍の制作と配布	入選
4	上原晋	個人	点字で賞味期限やメッセージを付ける人材を	入選
5	横田　歩	個人	目が見えなくなっても心には寄り添える中途視覚障害の臨床心理士	入選
6	米川　あみ	個人	目が見えなくても四感を生かして …食の仕事…	入選
7	前川　浩一	個人	NEXT VISION「 YouTube」チャンネルの開設	入選
8	大橋　正彦	個人	メディカルビジネスカウンセラー 医療と福祉の隙間を埋める先進的就労支援	入選
9	前川　浩一	個人	ロービジョンサポート用 折りたたみ式モバイルモニター	入選
10	神田　信	個人	マスコミ報道！　視覚障害の日三連発！ 社会に啓発と当事者に勇気と希望を！	入選

（総評）

応募数は昨年に比べて増加したもののまだ少ないのですが、応募された事例とアイデアはそれぞれ審査員から高く評価されています。企業でのインクルーシブな取り組みが広がっており、応募内容は充実しています。なお一層、本事業の募集の周知を図り応募数の増加となるよう努めたいと思います。そして、isee!運動を推進し、見えなくなっても社会の一員として互いに活躍できる社会を目指して取り組みたいと思います。

今年の発表・授賞式は、３年ぶりにリアル会場で開催できました。仙台の大型商業施設の会場と神戸会場をオンラインでつなぎ、さらにZoomウェビナーで全国に配信するという新たな方法で開催しました。イベント業者に入ってもらい実施しましたが、大きなトラブルもなく盛大に発表ができました。

また、今年新たに「パイオニアトーク」というインタビュー形式で、これまでのisee! Working Awards で受賞された事例やアイデアのその後の展開やもっと掘り下げて聞きたい内容をたっぷり紹介するコーナーを設けました。今年は昨年受賞された資生堂ジャパンの新たな視覚障害者の通信営業の取り組みと全盲で夢の保育士に挑戦して働いている小川みきさんのお話でしたが、参加者から大変好評でした。感銘を受けた、勇気をいただいたという声を多くお聞きしました。ハイブリッドで全国どこからでも参加ができたことは良かったと思います。

受賞者の事例及びアイデアの内容については、公益社団法人NEXT VISIONのホームページで公開し、広く社会の人々に知っていただけるように情報発信をしています。

また、事例とアイデアの内容、審査員のコメントを冊子にまとめた就労事例・アイデア集を作成し、広く本事業の内容を周知させるため配布を行っています。

最後になりますが、本事業の実施に当たり、公益社団法人日本眼科医会の後援をいただき、日本眼科医会賞を選んでいただいたことに深く感謝申し上げます。

2）サンキューカードを使った周知啓発

見えない、見えにくい方の移動を多角的に支援するために正しいガイドの仕方を一般の方に周知するとともに、一人でも多く就労・就学で困っている視覚に障害のある方を見つけることを目的に配布しました。また、視覚に障害のある方を見つけ、必要な情報・支援につなげる活動を見えない、見えにくい視覚に障害のある方にお手伝いいただくことで活躍の場を広げる効果もあります。

おもて面

うら面

配布する地域は視覚障害者の活動地域となるため全国であり、昨年度に引き続き、下記団体等を通じて配布しました。

特定非営利活動法人タートル
社会福祉法人日本ライトハウス　情報文化センター
社会福祉法人日本ライトハウス　リハビリテーションセンター
国立神戸視力障害センター
堺市健康福祉プラザ
兵庫県視覚障害者福祉協会
日本網膜色素変性症協会
日本視覚障害者団体連合
神戸市立盲学校
兵庫県立視覚特別支援学校
埼玉県立盲学校
岡山県立盲学校
社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
神戸市立点字図書館
非営利活動法人神戸アイライト協会
株式会社システムギアビジョン
株式会社尼崎眼鏡院
HOT POTの会
三輪書店（「ポイントマスターロービジョンケア外来ノート」に付属）

さらに、今年度は東北大学COI-NEXT「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワメント社会共創拠点に参加することで配布先および配布枚数の増加を図りました。

トラストメディカル：10,000 枚（仙台の支援機関、医療機関等へ配布）、イオンモール新利府：10,000 枚（3/11-12イオンモール新利府南館で実施された目の健康イベント『「見える」が変わると「世界」が変わる　カラダとココロのおもしろ体験イベント』で配布するなど、これまでつながりのなかった場所や人に配布できました。

（総評）

カードを配布された一般の方にとっては、視覚障害者への声のかけ方や手引きの仕方を知る機会となり、社会貢献の一助となる可能性が生まれたと考えます。

isee! ″Working Awards″のアイデアから生まれた本事業は、さまざまな用途に使えるオリジナルの情報提供カードであり、東北大学COI NEXT「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワメント社会共創拠点に参画する企業・団体に広がる可能性があり、今後も継続配布が期待されます。

（2）講演・セミナー事業

1）被災視覚障害者支援・避難所疑似体験セミナー

10月1日と2月26日にビジョンパークを避難所に見立てて、スマートフォンのアプリを使っての移動（ナビタグ）、掲示物の判別の体験、さらに簡易トイレの設営や非常食の調理および手回し式の充電器の体験を行いました。2月の回では、これらに加えさらに遠隔音声ガイド（アイコサポート）の体験も加えました。10月に3名、2月に4名の参加者があり、点字毎日（2023年4月20日）でも取り上げられました。また、第28回日本災害医学会総会（盛岡）にて、これらの活動について発表しました。

（総評）

一度に体験できる人数には限りがあり、参加費3000円では元がとれない事業ですが、社会的な意義は極めて大きく、これを機に他の事業体へも拡散されることが期待されます。

【点字毎日の記事】

視覚障害者と防災 避難所体験セミナー

あなたは準備してますか？

「避難所に一人で避難することになったら、あなたは、その準備をしていますか？」。この問いかけに引かれ、視覚障害者の支援に取り組む「ネクストビジョン」（神戸市）が2月26日に実施した「避難所体験セミナー」に参加した。3時間近くのプログラムを通して、体験することが自身の防災力の点検やアップにつながると実感した。

神戸で4人挑戦

会場になった「神戸アイセンター」2階の「ビジョンパーク」に集まったのは私を含めて4人の視覚障害者。「今回の体験は、外出先で大地震が起きたという想定です。通りかかった人が避難所に連れていってくれたものの、その人は自宅に帰ってしまいました。避難所には相談できる人がいないという状況です」。ネクストビジョンの理事で堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センターの館長・原田敦史さん（51）がそう切り出した。更に「皆さんの周りにはスタッフが何人かいますが、危ない時以外は全く声をかけません」との念押しに緊張が高まる。ただ、「どうしてもSOSを出したい時は手を挙げてください」との言葉にほっとした。

アルファ米の炊き込みご飯を作る

アプリで周囲の様子を認識させる

私たちが何をするのかは、スマートフォン用アプリ「ライン」で届くメッセージの指示に従う。スマホのカメラで印刷物や専用のタグを読み取るアプリを使ってもいいという。私たちは、何かが入った紙袋をわたされ、別々のエリアで指示を待った。

いよいよ開始

しばらくすると私のアイフォーンがぶるっと震え、メッセージの着信を知らせた。「袋からアルファ米、水、計量ボトルを取り出して食事の準備をしてください」との指示と作り方が書かれていた。水の分量は、計量ボトルに入るくらいがちょうどいいという。頭をよぎったのは、昨年の夏、新型コロナウイルスに感染し療養した時の体験だ。袋の中の乾燥剤とスプーンを取り出さずにお湯を入れるという失敗を犯した。同じミスをしないように水をアルファ米の袋に注意深く注ぐ。体験が終わる時間が食べごろとのこと。無事の終了を祈りつつ、袋の封をきちんと閉じた。

重い水を運ぶ

次の指示は会場内の状況確認。アイフォーンのカメラを向けると音声案内が聞こえてくる「ナビレンス」対応のタグが会場内に貼られているという。私は椅子から立ち上がり、持ったアイフォーンのカメラを周囲に向ける。「この先かなり傾斜、支援物資」「14㍍先まっすぐ受付」といった音声がアイフォーンから聞こえ、大体の位置関係がつかめた。

続いて「封筒から紙を取り出して読んでください」との指示が。アイフォーンのアプリ「シーイングAI」を起動し、封筒から出てきた用紙にカメラをかざす。「この避難所の共通ルールは次の通りです」で始まり、支援物資の配布やトイレの使い方などが書かれていることが分かった。

簡易トイレを取り付ける

「ナビレンス」のタグからの情報を頼りに給水所に行き、水を持ち帰る体験もした。片手に白杖、もう片手に重さ15㌔の水が入ったビニール袋を持ち、自分の場所に運ぶのは結構大変だった。

簡易トイレの取り付けもやってみた。まず、洋式トイレの便座を上げ配られた携帯トイレを便器にかぶせるようにセットする。次に凝固剤を入れる。そして、便座を下ろす。不器用な私でもとても簡単にできた。スタッフから受け取ったコップ1杯の水を流し込む。袋の外から触ってみると、水があっという間にプニュプニュの物体に変わっているのが分かった。袋から空気を抜き口をしっかり閉めてゴミ箱に捨てた。自宅に準備しておくといいグッズと感じた。

感想さまざま

参加者からはさまざまな感想が出た。全盲の男性は「盛りだくさんの内容を楽しく体験できた」と満足そうだった。弱視の女性は「お知らせが書かれた白い紙は、黒い壁などに貼ってもらうと見つけやすい。避難した時は、そう頼むようにしたい」と万が一の対処法に思いを巡らせていた。全盲の男性は「予想以上に疲れた。後半はスマホの充電がかなり減り、本体も熱くなった。アプリの読み上げがうまくいかなかったり動作がもたついたりした。スマホだけで対処するにはハードルが幾つもあるのでは」と指摘した。

私は避難所の受付で避難者のライン登録をし、重要な情報をラインでも知らせれば、助かる視覚障害者は少なくないのではと思った。

原田さんは「漠然とイメージしている部分を体験ではっきりさせ、課題解決できるように準備することが重要」と伝えた。最後に「こうした体験を多くの人がしておけば、災害時に困ることも減る」と結んだ。

ネクストビジョンでは、次のセミナーを5月下旬に開く予定という。【佐木理人】

2）ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート行間セミナー

ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート」をテキストとした有料Webセミナーを6月から3月までの毎月1回行いました。主に本書の執筆者を講師として、15分程度の講演2本をZoomで配信し、過去の講演とともに当法人の特別サイトで会員に対しての限定公開を行いました。毎回50名程度のライブ参加でしたが、会員は150名となり、年会費として78万円を得ることができました。

（総評）

今回で3年目となる有料セミナーです。固定層として100名程度の受講者が定着しました。昨年度とは異なり、基礎編は割愛して質疑重視の会を展開しました。次年度も趣向を変えてさらに発展したいと考えています。

3）ロービジョン支援ホームページの運用

COI-NEXTの研究費助成を活用して、NEXT VISIONのサーバー上に移設したロービジョンケアの用語説明と施設リンクを目的としたホームページの大幅な改修を行いました。
リンクされた施設情報の更新がこれまで困難で、5年に一度の大改修を要していましたが、これからは、随時変更が可能となりました。

（総評）

見た目をNEXT VISIONの他のページと似せ、音声対応も改善しました。5年前に施設リンクを回収した際に連絡した団体だけでなく、改修のお知らせをしたところ、リンクの希望と改修の連絡が入りました。これらをすぐに改修できることは、情報を古くさせず、利用する方の満足度を上げることができると思います。

4）シャルル・ボネ展

視覚障害に伴う幻視をシャルル・ボネ症候群と言います。この症状を持つ当事者でアーティストであるセアまり氏による作品の展覧会を5月11日から25日に、ビジョンパークで行いました。また、5月11日には、セアまり氏によるトークショー（ハイブリッド）を開催し、52人が参加しました。

（総評）

シャルル・ボネ症候群は、多くの視覚障害者が経験するものの、精神疾患との見分けがつきにくいため、人知れず不安に思っている症状です。欧米でのロービジョンケアでは説明することが当たり前になっているものの、本邦では、眼科医療においてすらあまり知られておらず、視覚障害者の無駄な不安を呼び起こす原因となっています。

本事業では、この症候の広報とともに、セアまり氏の幻想的な作品に触れ、ビジョンパークでの文化的体験を実現することができました。

5）日本眼科医会連携

地方においては視覚障害者が最初に受診する可能性が高いのは地域の眼科クリニックであり、全国の眼科クリニックの開業医が所属する日本眼科医会と連携しました。

引き続き、isee! Working Awardsでの日本眼科医賞の追加や日本眼科医会のHPと連携などを通して眼科の開業医へ情報発信を継続する予定です。

（総評）

視覚障害者の最初のアクセス先である眼科の開業医が所属する日本眼科学会との連携は、視覚障害者を情報障害に陥らせないためにも大きな意義があります。今後もさまざまな文脈で連携を深める予定です。

6）視覚障害者体験VR研修

視覚障害者が周囲の人に自分が視覚障害者であり困難さを的確に伝えられない背景には、視覚障害の種類や困難さの多様性を周囲の人が認識しにくい背景があります。VRを利用した教育コンテンツでは一人称で困難さを理解することができるため、支援者教育の強力なコンテンツとなり得るため、VRコンテンツの開発の指導を行い、教育ソフトを開発しました。

（総評）

製品の開発が無事終了したため、現在5台購入予定で今後は研修ツールとして実践活用予定です。

（3）支援者向け体験事業

1）パッチ・アダムス招致企画

夢の病院からビジョンパークができるまで

豊かに生きるための知識と習慣の処方箋として、人生100年時代を人が健やかに生きるため、心と体がウェルビーイング（ご機嫌）になるための考え方や行動習慣などをウェルビーイングを実践する専門家に学び、対話を通して学ぶイベントを実施しました。

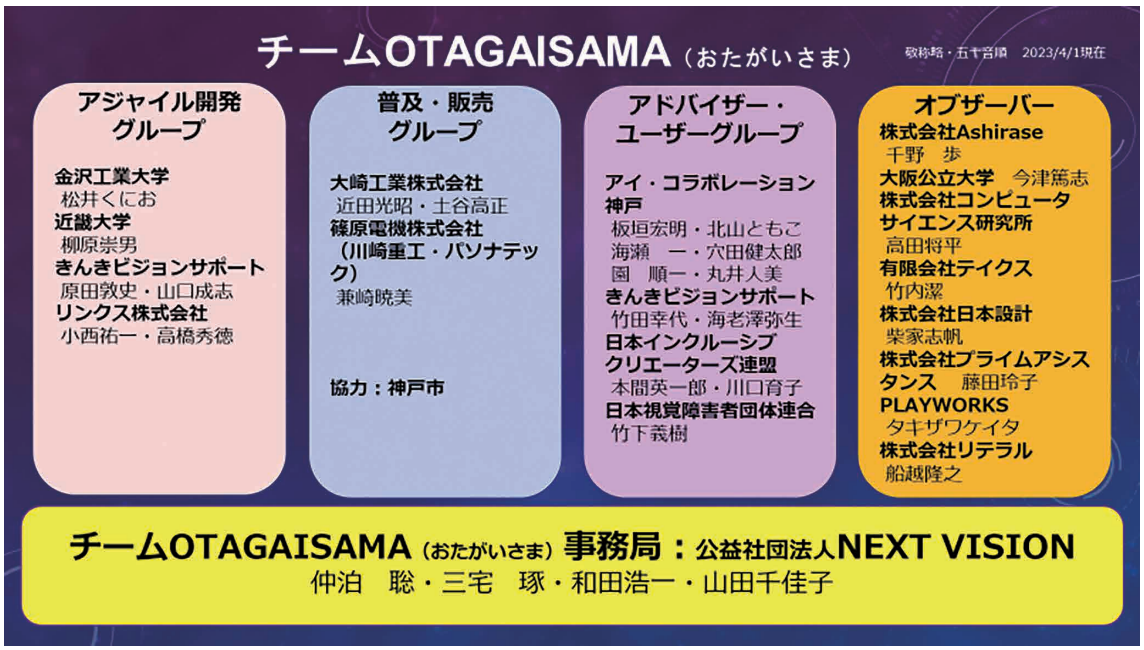
本イベントは東京で開催となり、神戸へはパッチ医師の訪問見学のみ実施(6/23)。

2）TEAM EXPO2025 共創チャレンジ企画

NaviLensによるスーパーシティ化大作戦ナビレンスやコード化点字ブロック、shikAIなど主に点字ブロックに情報を付加する二次元コード設置の検討（実証実験）と普及する活動を行いました。

これらの二次元コードは白杖および点字ブロックと併用することで安全、便利に使用でき、視覚に障害のある方だけでなく誰もが利用可能なルート案内等の情報の取得が可能で、二次元コードの総称をナビゲーション・タグ（ナビタグ）と呼び、2025大阪・関西万博での運用を目指しています。

そこで、TEAM EXPO2025 共創チャレンジにプロジェクト名「ナビタグで未来を変えるプロジェクト」として登録し、活動を継続しました。



現在、10機関・団体、24名のメンバーとオブザーバーとして8団体、8名がチームOTAGAISAMA（おたがいさま）として活動しています。

今年度はナビ・タグ評価（属性ごとの使いやすさ、課題抽出など）を行うため、神戸やまぶき材財団の助成金を得て、ポートライナー・医療センター駅に「コード化点字ブロック」の敷設を行いました。

ナビ・タグ評価のための実証実験は神戸アイセンターのほか、ポートライナー・三宮駅と医療センター駅、神戸市営地下鉄などでも実施しました。

（総評）

2023年度はshikAI（シカイ）を敷設し、実証実験を継続する予定で、ナビタグ敷設のガイドラインを作成し、公開する予定です。

また、視覚に障害のある方だけでなく、一般市民にも実際に使ってもらって便利さを実感していただけるように普及を進めるため、ガバメントクラウドファンディングを活用し、2024神戸世界パラ陸上に向けた準備の一つとしてさらに設置を進める予定です。

さらに、大阪・関西万博（2025年4月13日～10月13日）での実装を目指していますが、それが最終ゴールではなく、社会インフラとして神戸市をはじめ、日本国内に定着するよう、助成金や補助金を取得しながら活動を継続します。

（4）出版事業

1）「プライベートあい～名探偵になってあげないゾ！～」
出版プロジェクト

小説あるいはマンガといった親しみやすい形で等身大の当事者を多くの人に感じてもらい、当事者の方には「視覚障害者だからこそ優れている能力がある」というバリアバリューに気づいてもらうことを目的として、出版事業に取り組みました。

（総評）

出版社や広告代理店等に持ち込んだところ、実現には至っておらず、次年度以降も相談・交渉を重ねます。

3. 収益事業

（1）ビジョンパークを活かした情報発信

本事業は新型コロナ感染拡大対策のため行うことができませんでした。今後は状況をみながら実施する予定です。

（2）みんなで作るビジョンパーク会議

2022年12月に神戸アイセンターが５周年を迎えたことから、今年度は記念式典および講演会を開催しました。

寄附者、賛助会員、連携協力機関の方をご招待し、活動報告を行うとともに神戸アイセンターの今後の構想を発表しました。

2022/12/4 神戸アイセンター５周年記念式典・記念講演会
15：00～15：30　記念式典、
15：45～17：15　記念講演会

場所：神戸ポートピアホテル トパーズ（式典）、大輪田A（講演会）

主催：神戸市、株式会社ビジョンケア、地方独立行政法人神戸市民病院機構、公益社団法人NEXT VISION

プログラム

⑴記念式典

①主催者あいさつ　神戸市民病院機構理事長　橋本信夫

②来賓あいさつ　兵庫県眼科医会会長　古川清実氏
神戸市眼科医会会長　曽谷治之氏
社会福祉法人日本視覚障害者団体連合会長　竹下義樹氏

③５年間のあゆみ紹介　神戸アイセンター病院院長　栗本康夫

④記念ビデオ上映

⑤キャッチコピーお披露目、ヨシタケシンスケ氏関連発表

⑵講演会

①記念動画、キャッチコピーお披露目

②主催者あいさつ　公益社団法人NEXT VISION代表理事　三宅養三

③講演

- 神戸アイセンター病院院長　栗本康夫
  「iPS細胞が切り拓く眼の再生医療」
- 株式会社ビジョンケア代表取締役社長　髙橋政代
  「アイセンター構想／今後の展開」

参加人数：

- 記念式典：参加者99人（参加予定者108人）
- 記念講演会：参加者170人（参加予定者218人）※式典参加者除く
- マスコミ取材：４社（NHKは12/5（月）朝のニュースで放送）

（総評）

当日、会場にお越しいただけなかった寄附者、賛助会員、協賛企業の方々には活動報告書をお送りし、NEXT VISIONで実施している事業、活動内容を報告すると共に今後神戸アイセンターが目指す目標をお伝えしました。

今後もNEXT VISIONの活動やビジョンパークの役割を説明し、継続的にご支援をいただけるよう情報を発信し続けることで法人の運営を安定させ、より多くの視覚に障害のある方と情報を必要とするすべての方への支援活動を行いたいと思います。

4. 法人運営

1. 理事会

第２１回　令和４年６月６日

議題

１．令和３年度の事業報告及び計算書類の承認
２．社員総会の招集と議案等の承認
３．理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第２２回　令和５年２月１日

議題

１．令和５年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認
２．役員報酬規程改定の承認
３．会員の入退会及び会費に関する規程改定の承認
４．社員総会の招集と議案の承認
５．職務の執行状況について報告

2. 社員総会

第１９回　令和４年６月２０日

議題

１．令和３年度の事業報告及び計算書類の承認
２．理事の任期満了に伴う後任者選任の承認

第２０回　令和５年２月１日

議題

１．令和５年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認
２．役員報酬規程改定の承認
３．会員の入退会及び会費に関する規程改定の承認

見つめて、つながる、楽しい明日。
いっしょにいこう、明るい未来。

髙橋 政代
公益社団法人NEXT VISION 理事
株式会社ビジョンケア代表取締役社長

いつもNEXT VISIONの活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

昨年、神戸アイセンター開設5周年に際し、「見つめて、つながる、楽しい明日。いっしょにいこう、明るい未来。」というキャッチコピーを発表しました。みなさまと一緒に明るい未来に向かって歩むという決意をお伝えするとともに、NEXT VISIONが活動を継続できるのもみなさまのご支援のおかげと心より深く感謝申しあげます。

私が主軸を置くビジョンケアグループを含む神戸アイセンターでは、網膜疾患を対象とした研究と治療開発を行っており、すべての患者さん、視覚に障害のある方のさまざまな課題をあらゆる解決策で解決することを理念に掲げています。

その解決策のひとつがロービジョンケアであり、ICT、デジタルコンテンツ、デジタルデバイスやAI技術を導入した最適な情報の提供などによる「できない」と思っていることを「できる」にする社会の仕組みだと考えています。そして、実現に向けた社会実証をNEXT VISIONが担っています。

昨年度からは東北大学の大型研究COI-NEXT「Vision to Connect」にNEXT VISIONも参画し、これまでおこなってきたインクルーシブな活動を神戸から広げる活動を行っています。3月には「isee! Working Awards」の授賞式を仙台のイオンモールと神戸アイセンターを2元中継でつないで行いました。

iPS細胞を用いた再生医療の開発は順調に進んでおり、安全性の確認であった臨床研究から効果確認に移行しますが、さらに治療として進めるためには治療だけでなく、革新的な医療システム、包摂的な環境が必要で、その実現にはNEXT VISIONをハブとした研究、臨床、福祉、企業、教育、市民、行政といった既存の枠にとらわれない、シームレスな関係性の構築が必要です。その関係は支援する側、される側と分けるものではなく、公平な混ざりあった自由な関係性であることが望まれます。

誰もが暮らしやすく、「今日は楽しかった。明日も楽しみで待ち遠しい。」と思える社会となるようにNEXT VISIONは単なる組織ではなく、次に必要となる「何か」を示し、新しい気づきや考え方を伝えるためにみなさんと一緒に歩んでいく「活動体」でありたいと考えています。

5年を節目としてこれまでの経験をさらに発展させ、明るい未来に向かって、みなさんと一緒に歩んでいきたいと思いますので、引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

公益社団法人NEXT　VISION　　（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金	201,379	184,596	16,783
未収金	5,500,000	6,750,000	△ 1,250,000
貯蔵品	17,000	10,000	7,000
流動資産合計	5,718,379	6,944,596	△ 1,226,217
2．固定資産			
(1) 特定資産			
公益事業目的積立資産	57,386,072	59,629,945	△ 2,243,873
法人管理目的積立資産	80,672,849	94,969,447	△ 14,296,598
特定資産合計	138,058,921	154,599,392	△ 16,540,471
(2) その他固定資産			
建物付属設備	197,100	246,375	△ 49,275
什器備品	4,810,365	6,254,044	△ 1,443,679
ソフトウェア	5,696,850	405,000	5,291,850
その他固定資産合計	10,704,315	6,905,419	3,798,896
固定資産合計	148,763,236	161,504,811	△ 12,741,575
資産合計	154,481,615	168,449,407	△ 13,967,792
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	188,733	51,700	137,033
前受金	1,228,105	4,039,000	△ 2,810,895
預り金	131,545	205,505	△ 73,960
短期借入金	111,700	111,700	0
未払法人税等	72,000	72,000	0
流動負債合計	1,732,083	4,479,905	△ 2,747,822
負債合計	1,732,083	4,479,905	△ 2,747,822
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
寄付金	142,283,018	153,398,230	△ 11,115,212
指定正味財産合計	142,283,018	153,398,230	△ 11,115,212
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定財産への充当額）	(138,058,921)	(153,398,230)	15,339,309
2．一般正味財産			
一般正味財産	10,466,514	10,571,272	△ 104,758
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定財産への充当額）	0	(1,201,162)	1,201,162
一般正味財産合計	10,466,514	10,571,272	△ 104,758
正味財産合計	152,749,532	163,969,502	△ 11,219,970
負債及び正味財産合計	154,481,615	168,449,407	△ 13,967,792

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 ＮＥＸＴ ＶＩＳＩＯＮ　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	20,680,000	12,091,700	8,588,300
事業収益	20,680,000	12,091,700	8,588,300
受取補助金等	14,125,995	5,778,850	8,347,145
受取国庫補助金	3,500,000		3,500,000
受取地方公共団体補助金	4,240,800	1,250,000	2,990,800
受取補助金等振替額		4,528,850	△ 4,528,850
受取民間助成金	6,385,195		6,385,195
受取寄付金	29,029,954	39,615,693	△ 10,585,739
受取協賛金	4,730,000	3,630,000	1,100,000
受取寄付金振替額	24,299,954	35,985,693	△ 11,685,739
雑収益	2,688	4	2,684
受取利息	33	4	29
雑収益	2,655	0	2,655
経常収益計	63,838,637	57,486,247	6,352,390
(2) 経常費用			
事業費	59,524,970	51,928,214	7,596,756
役員報酬	2,224,800	2,160,000	64,800
給料手当	18,318,178	17,789,390	528,788
福利厚生費	20,988	47,664	△ 26,676
法定福利費	2,958,804	2,582,638	376,166
会議費	500	9,720	△ 9,220
旅費交通費	3,059,445	1,701,063	1,358,382
通信運搬費	1,153,860	1,140,636	13,224
減価償却費	1,877,299	1,747,753	129,546
消耗什器備品費	851,100	81,882	769,218
消耗品費	3,263,776	447,108	2,816,668
修繕費	357,170		357,170
印刷製本費	536,940	397,670	139,270
地代家賃	14,673,464	16,462,442	△ 1,788,978
光熱水料費	854,200	561,779	292,421
賃借料	505,326	479,768	25,558
保険料	266,364	222,688	43,676
諸謝金	1,342,717	1,592,843	△ 250,126
租税公課	90,060	120,555	△ 30,495
支払手数料	361,210	133,028	228,182
委託費	5,241,522	1,365,360	3,876,162
雑費	321,647	325,567	△ 3,920
諸会費	57,600	100,574	△ 42,974
支払報酬	1,188,000	2,458,086	△ 1,270,086
管理費	4,346,425	5,685,932	△ 1,339,507
役員報酬	247,200	240,000	7,200
給料手当	2,035,352	1,976,598	58,754
福利厚生費	2,331	5,297	△ 2,966
法定福利費	328,757	286,960	41,797
会議費		0	0
旅費交通費	217,774	124,002	93,772
通信運搬費	42,658	39,679	2,979
減価償却費	98,805	91,987	6,818
消耗品費	33,447	508,419	△ 474,972
消耗什器備品費		9,099	△ 9,099
修繕費	18,700		18,700
印刷製本費	59,660	23,441	36,219
地代家賃	772,288	1,829,161	△ 1,056,873
光熱水料費	44,958	29,567	15,391
賃借料	42,125	47,563	△ 5,438
保険料	29,596	24,742	4,854
諸謝金	86,142	49,500	36,642
租税公課	4,740	6,345	△ 1,605
支払手数料	5,568	12,768	△ 7,200
委託費	102,354	9,672	92,682
雑費	35,570	33,836	1,734
交際費		53,000	△ 53,000
諸会費	6,400	11,175	△ 4,775
支払報酬	132,000	273,121	△ 141,121
経常費用計	63,871,395	57,614,146	6,257,249
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,758	△ 127,899	95,141
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 32,758	△ 127,899	95,141
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 32,758	△ 127,899	95,141
法人税等	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 104,758	△ 199,899	95,141
一般正味財産期首残高	10,571,272	10,771,171	△ 199,899
一般正味財産期末残高	10,466,514	10,571,272	△ 104,758
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
受取補助金等		4,528,850	△ 4,528,850
受取地方公共団体補助金		4,528,850	△ 4,528,850
受取民間助成金			
受取寄付金	13,184,742	17,513,700	△ 4,328,958
受取寄付金	13,184,742	17,513,700	△ 4,328,958
一般正味財産への振替額	△ 24,299,954	△ 40,514,543	16,214,589
地方公共団体補助金		△ 4,528,850	4,528,850
寄付金	△ 24,299,954	△ 35,985,693	11,685,739
当期指定正味財産増減額	△ 11,115,212	△ 18,471,993	7,356,781
指定正味財産期首残高	153,398,230	171,870,223	△ 18,471,993
指定正味財産期末残高	142,283,018	153,398,230	△ 11,115,212
Ⅲ　正味財産期末残高	152,749,532	163,969,502	△ 11,219,970

正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 ＮＥＸＴ ＶＩＳＩＯＮ　　（単位：円）

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計	法人会計	合計
	公1（直接支援）	公2（間接支援）	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部						
1．経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益	16,880,800	1,244,700	18,125,500	2,554,500	0	20,680,000
事業収益	16,880,800	1,244,700	18,125,500	2,554,500	0	20,680,000
受取補助金等	5,620,400	5,005,595	10,625,995	0	3,500,000	14,125,995
受取国庫補助金	0	0	0	0	3,500,000	3,500,000
受取地方公共団体補助金	2,120,400	2,120,400	4,240,800	0	0	4,240,800
受取民間助成金	3,500,000	2,885,195	6,385,195	0	0	6,385,195
受取寄付金	6,767,559	4,463,686	11,231,245	0	17,798,709	29,029,954
受取協賛金	1,182,500	1,182,500	2,365,000	0	2,365,000	4,730,000
受取寄付金振替額	5,585,059	3,281,186	8,866,245	0	15,433,709	24,299,954
雑収益	0	0	0	0	2,688	2,688
受取利息	0	0	0	0	33	33
雑収益	0	0	0	0	2,655	2,655
経常収益計	29,268,759	10,713,981	39,982,740	2,554,500	21,301,397	63,838,637
(2) 経常費用						
事業費	29,268,759	27,668,953	56,937,712	2,587,258		59,524,970
役員報酬	1,112,400	1,112,400	2,224,800	0		2,224,800
給料手当	9,159,089	9,159,089	18,318,178	0		18,318,178
福利厚生費	10,494	10,494	20,988	0		20,988
法定福利費	1,479,402	1,479,402	2,958,804	0		2,958,804
会議費	0	0	0	500		500
旅費交通費	1,536,698	1,427,868	2,964,566	94,879		3,059,445
通信運搬費	957,866	195,994	1,153,860	0		1,153,860
減価償却費	889,247	889,247	1,778,494	98,805		1,877,299
消耗什器備品費	851,100	0	851,100	0		851,100
消耗品費	951,650	2,312,126	3,263,776	0		3,263,776
修繕費	273,020	84,150	357,170	0		357,170
印刷製本費	268,470	268,470	536,940	0		536,940
地代家賃	6,950,588	6,950,588	13,901,176	772,288		14,673,464
光熱水料費	404,621	404,621	809,242	44,958		854,200
賃借料	189,563	315,763	505,326	0		505,326
保険料	133,182	133,182	266,364	0		266,364
諸謝金	641,559	681,158	1,322,717	20,000		1,342,717
租税公課	42,660	42,660	85,320	4,740		90,060
支払手数料	35,065	324,363	359,428	1,782		361,210
委託費	2,599,218	1,092,998	3,692,216	1,549,306		5,241,522
雑費	160,067	161,580	321,647	0		321,647
諸会費	28,800	28,800	57,600	0		57,600
支払報酬	594,000	594,000	1,188,000	0		1,188,000
管理費					4,346,425	4,346,425
役員報酬					247,200	247,200
給料手当					2,035,352	2,035,352
福利厚生費					2,331	2,331
法定福利費					328,757	328,757
旅費交通費					217,774	217,774
通信運搬費					42,658	42,658
減価償却費					98,805	98,805
消耗品費					33,447	33,447
修繕費					18,700	18,700
印刷製本費					59,660	59,660
地代家賃					772,288	772,288
光熱水料費					44,958	44,958
賃借料					42,125	42,125
保険料					29,596	29,596
諸謝金					86,142	86,142
租税公課					4,740	4,740
支払手数料					5,568	5,568
委託費					102,354	102,354
雑費					35,570	35,570
諸会費					6,400	6,400
支払報酬					132,000	132,000
経常費用計	29,268,759	27,668,953	56,937,712	2,587,258	4,346,425	63,871,395
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 16,954,972	△ 16,954,972	△ 32,758	16,954,972	△ 32,758
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	△ 16,954,972	△ 16,954,972	△ 32,758	16,954,972	△ 32,758
2．経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	△ 16,954,972	△ 16,954,972	△ 32,758	16,954,972	△ 32,758
他会計振替額	0	16,954,972	16,954,972	0	△ 16,954,972	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 32,758	0	△ 32,758
法人税等	0		0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 104,758	0	△ 104,758
一般正味財産期首残高	0	0	0	△ 1,284,830	11,856,102	10,571,272
一般正味財産期末残高	0	0	0	△ 1,389,588	11,856,102	10,466,514
Ⅱ　指定正味財産増減の部						
受取寄付金	3,341,186	3,281,186	6,622,372	0	6,562,370	13,184,742
受取寄付金	3,341,186	3,281,186	6,622,372	0	6,562,370	13,184,742
一般正味財産への振替額	△ 5,585,059	△ 3,281,186	△ 8,866,245	0	△ 15,433,709	△ 24,299,954
一般正味財産への振替額	△ 5,585,059	△ 3,281,186	△ 8,866,245	0	△ 15,433,709	△ 24,299,954
寄付金	△ 5,585,059	△ 3,281,186	△ 8,866,245	0	△ 15,433,709	△ 24,299,954
当期指定正味財産増減額	△ 2,243,873	0	△ 2,243,873	0	△ 8,871,339	△ 11,115,212
指定正味財産期首残高	59,629,945	0	59,629,945	0	93,768,285	153,398,230
指定正味財産期末残高	57,386,072	0	57,386,072	0	84,896,946	142,283,018
Ⅲ　正味財産期末残高	57,386,072	0	57,386,072	△ 1,389,588	96,753,048	152,749,532

memo

memo

memo

黒田冨紀子「いろいろな世界」
油彩 2017年